

青松とちぎ

新潟大学 人文・法・経済学部同窓会 栃木県支部会報



2022.5.15 第5号

発行責任者 藤沼哲史

事務局 〒320-0821

宇都宮市一条3-2-31

新型コロナウイルスへの対応から「貴重な日常」への回帰を！

新潟大学人文・法・経済学部同窓会栃木県支部支部長

昭和49年人文・法学科卒 藤沼哲史

会員の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルスのいわゆる「まん防重点措置」が3月で解除された後も、感染者数が減少していません。この会報が皆さんの手元に届く頃には嘘のように減少・回復していることを願いたいものです。

また、感染拡大が終息しない中でロシアによるウクライナ侵攻があり、かつての列強による領土拡大の再現か、はたまた冷戦時代へタイムスリップしたかのごとき情勢ですが、少なくともとはるか遠い対岸の火事ではないことは明白です。国際政治には大いに関心があり意思表明したいところですが、紙面の関係で差し控えます。

さて、感染症対策には基礎体力の強化は重要ですが、幸いなことに私は、平日には遠出のウォーキングやストレッチ、自転車の古チューブを使った筋力強化(スマートなジム通いとほど遠い)など、できるだけ身体を動かしてきました。また、日曜日にはもう三十年近くおじさんソフトボールチームで「草ソフト」に勤しんできました。

この前の日曜日には、雨上がりの爽やかな河川敷でシニアの公式戦があり、ピッチャーとして2戦で1勝1敗。1戦目は同点で迎えた最終回にサヨナラホームランを喫しました。その瞬間の乾いた鋭い打球音がまだ強烈に耳に残っています。向こうもそれなりの年齢のはずなのに何とバ



記事中の試合後の写真 左が筆者

右は元高校の野球部監督で不動の四番でショート

矢口さん いつも野菜をもらっています

やつとピッチャー交替の指示があり、後続が押さえてくれて勝利へ。メンバー皆がヒットを飛ばすたびに、またファインプレーやチョンボのたびに一喜一憂して興奮する。ああ何と満ち足りた時間でしょう。こういう時は心身ともに老化にブレーキがかかった気がするものです。疲労回復にはたいへん時間がかかりますが。

ワフルなおじさんだ。参りました。

次の試合も連投し、最終回までリードを続けたものの、下半身がもうヘロヘロ状態。見かねてベンチから

昨年書店で見つけたスウェーデンの精神科医師アンデシュ・ハンセンのベストセラー、「スマホ脳」の中では、デジタル社会の人間特に子ども、若者について、スマホへの過度な依存による抑うつ状態などから脳を守るための運動の有用性を強調しており、身体活動によるメンタル面での機能向上にも、私たち高齢者も含め年齢を問わず効果的であるようです。運動の効用は理解していても、現役で日夜遅くまでお勤めの皆さんには中々容易ではないと思いますが、努めて運動の機会をもちましょう。

そして繰り返されてきた自粛の世界から「貴重な日常」へ回帰すべく、趣味・フィールドワークやスポーツレジャーなどにも目を向けて、楽しく充実した日々を送りたいものです。

最後に、今回お二人に寄稿をお願いしました。趣味・嗜好を超える真摯な取り組みや、岐路に立つ若者への優しい眼差しは、「新潟」を共有する者として、身近な充足感を覚えま(感想先取りで申し訳ない。)

それでは。

権現山遺跡発掘の想い出

昭和51年人文学部経済学科卒

興野 喜宣

栃木県宇都宮市笹塚円墳(5世紀
前方後円墳)の主の居館発掘調査に
かかわれた喜び

はじめに
・考古学を学び始めた動機・

長年勤めた会社を退職してから、
地元の歴史を学びたいと思っていま
した。

趣味で鉱物など地学関係はかな
りやって来ていましたので新しい分
野へ挑戦したいと思い、住んでいる
壬生町は古墳が沢山あるので古墳時
代から学び始めました。

図書館へ行って古墳時代の本を



(筆者近影)

読んでから、さらに地元にある古
墳の発掘報告書を読みだしまし
たが実感がありません。どうして

も発掘を自分の手でやってみた
くなり、まず壬生の資料館の担当
者に発掘の現場を見せてもらい
に何日か通いました。

その後小山市で西高椅工業団地造
成調査のため4年にわたり古墳群の
発掘があるという情報があり、作業
員として応募して実施調査に係るこ
とができました。

権現山遺跡の調査のお手伝い

新潟大学の考古学研究室が宇都
宮の権現山遺跡の発掘を考古学実習
として行うとの話を、文書館に勤め
ていて前年度の発掘のときお手伝し
た人から聞きました。更に一緒にお
手伝いしないかと誘われました。

権現山の発掘調査現場に行き、お
会いした橋本博文教授から手伝うこ
とを快諾していただきました。

それから3年間発掘がある時お
手伝いしました。新潟大学考古学の
専門家による実習を直近で見て体験
することができ、
夢がかないました。

手伝いながら発掘の基礎、

道具の使い方、図面取り、そし
て一緒に泥と汗まみれになっ
て共通の発掘体験できたこと
は非常に貴重な体験でした。

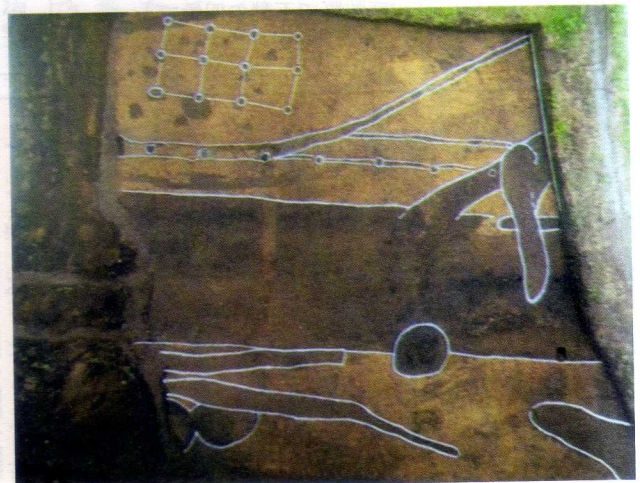
更に学生さんや訪れる専門家
の人の遺跡・遺物の見方、宇都
宮市5世紀の古墳時代の見方
などの知見を得たり、その後
の交流ができ考古学の人脈が
できました。

2年目からは西高椅の発掘
の友人2人も加わりまたドロ
ーンの名手も手伝っていただ
け、撮影などお手伝いもする
ことができました。

また雨のため調査期間に終
わらず、栃木の作業員と橋本
先生で、残りの調査をしたこ
となどが昨日のように思い出
されます。

また栃木の新潟大学同窓会
から差し入れなどの支援もい
ただけました。

母校の新潟大学の教育事業
に少しでもお手伝いできたこ
とがうれしいです。



(2016年新潟大学考古学研究室 調査研究報告16より第4次調査区)

終わりに

橋本博文先生は2019年に新潟大学を退官されました。また、この原稿書いているとき青松72号が届け経済学科時代ゼミの諫山正先生の訃報が載っていました。楽しい時間はあつという間に過ぎ去ります。

十八歳の決心

昭和61年人文学部・文化課程卒

眞淵 千果

私は、大学で宮崎莊平先生の源氏物語ゼミに所属し、現在は高校で国語を教えています。源氏物語を教材として授業が行われるのは、普通科の進学校で、二年生の秋の数週間。後は徒然草のお説教っぽい笑い話の「丹波に出雲といふ所あり」、グローバル化や多文化共生をテーマとする評論文などです。日本文化の平準化、理解力の低下、浅く狭くを日々実感しています。

この原稿を作成している今日は、三月二十四日。「卒業生による進路講話」というイベントが勤務先で行われました。高校生活を模範的に（遅刻や欠席は少なく、成績良好で、部活動や生徒会活動に熱心等）送り、納得の進路を決めた三年生に体験談を聞かせてもらおうという催しです。自宅から通う人は少なく、今、宇都宮から旅立つ時に思うことや後輩に必勝の勉強法を生徒のレベルで現実的に話してくれました。入学式に着ていく一張羅のスーツに細い体を包んだ新潟大学へ進学する男子もいました。

今は国立大学も秋に推薦入試があり、条件を満たせば誰でも出願できます。倍率は高く、語られた体験談の中には、「私は〇〇大学を推薦入試で落ちました。その後からは気をひきしめて……」などというものもあり、チャンスは多くなったかもしれないけれど、十八歳ですで大変な思いをしているのだと思います。

私が顧問をしている書道部のAさんも「誉の先輩」に選ばれて講演しました。行事の後、丁寧に挨拶に来てくれました。



(筆者原稿—書道部顧問らしい端正な読みやすい書体)

「先生もお元気で。」
「ありがとう。髪、変えたんだね。」
「はい。重かったから、思いきって染めてみました。」
和の情緒を漂わせ、長い黒髪がトレードマークだったAさんですが、今風の茶髪にイメージチェンジして、にこにこ嬉しそうです。そして、「他のみんなは、就職先を考えて大学を決めました……」とカ言っていたけれど、正直、私は今、将来なんか見えないから、行きたいと思うところを受けました。二年生も行きたいって 思うモチベーションが上がる と頑張れると思うんです。」
「キャンパスがきれいとか、楽しそうと思うだけでもいいと思います。」
十八歳の本心です。Aさんは書道部では、作品制作の意気込みもすっかりとした尊敬される先輩です。本校の進路指導では、「決して大学の建物等外見で選ばないように。」と何度も伝えてきただけに驚きました。しかし、本人が希望し、保護者も承諾している祝福の進学です。

Aさんはこれからも自分で考え、強い意志と行動力で人生の航路の舵をきっていくことでしょう。

みなさまはどのような思いで新潟へ向かわれたのでしょうか。大学での成果は開花結果し、充実の日々をお過ごしのことと拝察します。人生の旅は今、宇都宮ですが、私も次の一手はAさんのように「行ってみよう」という自分の気持ちを尊重して決めたいと思います。

編集後記 (編集委員・斎藤康史)

第5号の発行に漕ぎつけました。今回も執筆にご協力いただいたお二方には心から感謝申し上げます。興野さんの旺盛な好奇心と行動力、眞淵さんの生徒の心に寄り添う姿勢には敬服いたします。

さて図らずも、かなり大きな紙面を編集後記で使えることとなりました。こうなると、もう「編集後記」とは言えないかも知れませんが、それはともかく、あまりこうした機会はないと思いますので、好きなことを書かせてもらうことにしました。

みなさんは、左表の順位が何かご存じでしょうか？

1位	新潟市	¥13,734.-
2位	山形市	¥13,434.-
3位	宇都宮市	¥10,321.-

これは、2月に公表された総務省の家計費調査の昨年一年間の集計結果で、一世帯当たりの「ラーメン

メンなど中華そばにかけた外食費」のランキングです。

(対象は県庁所在地と政令市)

これまで山形市が8年連続で首位を独占してきましたが、昨年は300円差で新潟市がトップに躍り出ました。3位は宇都宮市ですが、2位との差は、3千円以上もあり、上位2市の突出ぶりが明らかです。

新潟県全体で言うところ、新潟市の淡麗あつさりラーメン、濃厚味噌ラーメン、長岡市の生姜醤油ラーメン、燕市の背油ラーメン、三条市のカレーラーメンをもって、新潟5大ラーメンと言うようです。編集子が食べたのは、杭州飯店の背油ラーメンと青島食堂の生姜醤油ラーメン。背油ラーメンは、見た目からはこつてりの感じですが、食べてみるとスープはあつさりしており、玉ねぎがおいしいアクセントとなっています。生姜醤油ラーメン、生姜の効いたスープと薄切りのチャーシューは中細麺との相性もよく飽きさせない味です。



(編集子一押しのケンチャンラーメン
山形県内に9店舗ほど。写真は山形店)

市には満月、三日月など店名に「月」のつく店が多く、そこで提供されるワンタンメンは絶妙。薄皮のワンタンは、口に入れたとたんに溶けてしまいます。編集子が最も好むケンチャンラーメンも酒田市に本店があり、独特の暴れるような手打ち乱切りの縮れ麺は忘れられません。また、鶴岡市郊外には、もはや伝説となっている琴平荘という名店もあります。話が荘内に偏ってしまいました。話が最上、村山、置賜など内陸部は蕎麦の方が優れていると感じるためです。しかし、山形の蕎麦屋では、鶏中華という他にはないラーメンを味わうことができます。ここで、紙面が尽きてしまいました。栃木のラーメン事情は別の機会に。

➤ 支部会費納入をお願いします

- 栃木県支部は、県内在住の同窓生の交流を促進し、情報をお伝えするため活動しています。
- 同封の振替用紙での会費納入をお願いします(110円の手数料がかかります。)

➤ 投稿を歓迎します

- 皆さんの学生時代の思い出や近況を掲載します。(1,000~1,600字程度で)

【送付先】

〒320-0821 宇都宮市一条3丁目2-31

藤沼 哲史 宛

e-mail: fujinuma@eco.ocn.ne.jp